

めでいかすとる
Médicastre



「 胡桃の花 」

一般社団法人鶴岡地区医師会 第105回定時総会

日時：令和2年6月11日(木) 19:00～

場所：グランドエル・サン クリスタルホール

堀内議長：定刻となりましたので、一般社団法人鶴岡地区医師会第105回定時総会を開催します。この度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催時間を短縮するため、例年実施しております各会計の事業報告を事前にお配りしました資料をもって報告に代え、当日の説明を省略させていただくことにしました。どうぞよろしくお願いいたします。

最初に資格確認をお願いいたします。

御橋事務局長：資格確認についてご報告いたします。総会員の議決権数166名、19時現在の出席者数25名、委任状の提出者76名、計101名となり定款第19条総会の成立に必要な過半数の出席を満たしておりますので、本総会は成立いたします。

堀内議長：ありがとうございました。それでは会長あいさつに移ります。土田会長よろしくをお願いいたします。

土田会長：はじめに、ご多忙の中、一般社団法人鶴岡地区医師会第105回定時総会にご出席を賜りました会員の皆様に役員を代表して感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

4月の臨時総会に引き続き新型コロナウイルス感染への対応のため、会場も進行も例年とは違ったものとなることをお許しください。本日の総会では令和元年度の会務報告、公益目的支出計画実施報告、令和2年度事業計画ならびに正味財産増減予算報告に引き続き、令和元年度決算と令和2年度会費賦課(案)の議案2件についてご審議いただきます。時間短縮を図るため例年行っている担当理事による各事業会計の収支計算書の説明を省略する事とし、代替策として事前配布の資料を充実させました。慎重審議の上、ご承認賜りますようお願いいたします。

ご承知の通り、私はこの総会の終結をもって会長職を辞することになりました。20有余年の役員生活の中で5期10年の副会長2期4年の会長を務めさせていただき、多くの貴重な経験を積むことが出来ました。会員の先生方、役員、職員の皆さんの長年のご指導ご協力に心から感謝申し上げます。願わくは最後まで気持ちよく任務を全

うさせていただきますよう伏してお願い申し上げます。会長としての最後の挨拶といたします。ありがとうございました。

堀内議長：ありがとうございました。続きまして議事録署名人の選出に移らせていただきます。

どなたか立候補される方はいらっしゃいますでしょうか。どなたもいらっしゃらないようですので、こちらから指名させていただきます。鈴木伸男先生、滝沢元先生の両先生をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。それでは次第に沿って進めて参ります。円滑なる進行にご協力くださいますようお願いいたします。では、5.の報告、最初に令和元年度会務報告について総務担当の小野副会長をお願いいたします。

小野副会長より説明(略)

令和元年度に亡くなられた佐久間正昭先生、岡田穆先生、腰越直也先生、當真秀夫先生、佐藤元昭先生、和田満先生、本年4月に亡くなられた齋藤元護先生に哀惜の意を表し一同黙祷

堀内議長：ありがとうございました。只今の報告にご質問はありますでしょうか。では次に令和元年度公益目的支出計画実施報告書について、小野副会長よろしく願います。

小野副会長より説明(略)

堀内議長：ありがとうございました。公益目的支出計画実施報告書に関する監査報告書について、監事をお願いいたします。

阿部監事より報告(略)

堀内議長：ありがとうございました。只今の説明にご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。では、続きまして令和2年度事業計画、正味財産増減予算書について、小野副会長願います。

小野副会長より説明(略)

堀内議長：ありがとうございました。ご質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。では報告について終了いたします。続きまして6.の議案に移ります。第1号議案 令和元年度決算承認の件について、財務諸表の説明を総務担当の小野副会長よりお願いいたします。

小野副会長：決算書類につきましては総会にお

いて貸借対照表および正味財産増減計算書について承認をいただかなければなりません。令和2年3月31日現在の鶴岡地区医師会の資産と負債およびその内容でございます。それぞれ前年度に比べましてⅠ. 資産の部、1. 流動資産合計は4,217万5千円増、2. 固定資産合計は9,285万1千円減、資産合計は5,067万5千円減の39億2,976万5千円になります。Ⅱ. 負債の部1. 流動負債合計は987万6千円増、2. 固定負債合計が1,090万6千円増、以上負債合計額は2,078万3千円増の18億1,519万4千円となります。Ⅲ. 正味財産の部、合計は7,145万8千円減の21億1,457万1千円、負債および正味財産の合計額は資産合計と同額になります。続きまして令和元年度の正味財産増減計算書についてご説明させていただきます。Ⅰ. 一般正味財産増減の部、1. 経常増減の部(1) 経常収益④事業収益は各会計の合計で前年度に比べまして1,288万6千円増⑤受取補助金等は4,542万3千円の増、この補助金は主に湯田川リハビリテーション病院の人件費相当額の補助金になります。経常収益計は5,530万7千円増の32億1,270万円でございます。(2) 経常費用①事業費、給料手当から福利厚生費まで主に人件費の関係で6,310万5千円の増、②管理費も合わせました経常費用の合計額は前年度に比べて6,506万5千円増になります。以上、当期経常増減額は前年に比べまして975万8千円減、経常外増減の部を合わせました当期一般正味財産増減額は前年度に比べまして992万4千円減のマイナス6,383万4千円、期首残高を加えました期末残高は6,383万4千円減の19億5,216万8千円となりました。Ⅱ指定正味財産増減の部、当期指定正味財産増減額は3万9千円増、期首残高を加えた期末残高は762万3千円減の1億6,240万3千円です。以上、正味財産期末残高は7,145万8千円減の21億1,457万1千円となります。また、16ページ以降に財務諸表に対する注記、附属明細書等が記載してございますのでご覧いただければと思います。

堀内議長：ありがとうございます。それでは、監事監査報告を監事よりお願いいたします。

阿部監事より報告（略）

堀内議長：どうもありがとうございます。只今の財務諸表に対し、また、事前にお配りしております各会計の事業報告も併せ、ご質問等はいかがでしょうか。それでは第1

号議案 令和元年度決算承認の件について、これを承認することに賛成の方の挙手を求めます。賛成の方は挙手をお願いいたします。
(挙手多数)

挙手多数で令和元年度決算については承認されたものと認めます。

次に第2号議案 令和2年度会費賦課(案) 承認の件について、小野副会長より説明をお願いいたします。

小野副会長：第2号議案令和2年度会費賦課(案) 承認の件、令和2年度鶴岡地区医師会会費賦課(案) について承認を求めます。令和2年6月11日一般社団法人鶴岡地区医師会会長土田兼史。昨年度と同じ内容でございます。令和2年度鶴岡地区医師会会費賦課(案) A1会員年間医業総収入2,500万円未満の会員につきましては月額1万3,200円、総収入2,500万円以上のA2会員につきましては月額会費が1万9,300円、B会員につきましては3千円、C会員は会費はございません。準会員につきましては月額千円の会費でございます。

堀内議長：ありがとうございます。この件について、ご質問等はいかがでしょうか。それでは令和2年度会費賦課(案) 承認の件についてお諮りいたします。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(挙手多数)

挙手多数につき第2号議案 令和2年度会費賦課(案) は承認されたものと認めます。

7.の協議に入ります。協議事項などお持ちの方はいらっしゃいますでしょうか。

齋藤壽一先生：この決算の中で補助金収入がかなり多いと思う先生がおられると思うのですが、湯田川温泉リハビリテーション病院の市からの補助金でこれは病院の売り上げの人件費相当を市を介して補助金という形で回ってきているだけで中身は補助金ではありません。こういった処理にしないと面倒な部分もあるため最初からそういう風になっています。これは補足だけです。会長へお尋ねします。昨日の荘内日報に鶴岡の医療を守る市民研究会というのが載っていたように思うのですが何か情報をお持ちですか。

土田会長：私もその新聞は昨日読ませていただきました。その会が開かれる中身はほとんどわかっておらずメーリングリスト、その他インターネットメールで案内が出ているということは聞き及んでおりました。中身までは知っておりませんし、直接的な連絡も受けてはおりません。

齋藤壽一先生：事前に医師会に相談があったということは全くなかったのですか。

土田会長：ありませんでした。

齋藤壽一先生：では医師会とは全く別のものに関係ないということによろしいですね。

土田会長：そう思ってください結構です。

齋藤壽一先生：はいわかりました。次ですが3年後くらいに荘内看護専門学校の改築があると聞いております。それは間違いないでしょうか。

土田会長：間違いないものと理解しております。

齋藤壽一先生：そういう情報の中で我が准看護学院はなかなか定員も埋まらない。学生のレベルもなかなか良いレベルではない。中退者が多い。毎年1千万とか1千500万とか2千万の繰入金収入がないとやっていけない事業であります。昔からこの話はあったのですが、今回荘内看護専門学校の改築に合わせて荘内看護専門学校の定員数を増やしていただいて准看護学院を廃止するという方向を是非とっていただきたいと思いますがいかがでしょう。

土田会長：お答えします。荘内看護専門学校の定員数を増やしていただくということまでは医師会の一存で決定は出来ませんが、そういったところも加味しながら准看護学院、准看護師の養成校としての鶴岡地区の医師会の役割に関しては、実はもう理事会を通じて意思をある程度固めておりました、そのことについては定款の変更にも関わることでありますので会員の皆様に一両日中に理事会の意思を披瀝し、それについて意見を求めるアンケート調査を行う予定としております。

齋藤壽一先生：建設のタイムリミットを考えると多分今年の夏、7月8月がリミットじゃないかと思っておりますので、是非馬力をかけて、次の役員の方にも鋭意努力していただきたいと思っております。

土田会長：この次の役員と言われると私も答えにくくなりますが、そのように申し伝えます。

齋藤壽一先生：それから医師会の事業計画に人口減少、少子高齢化に対応するという部分が増えているようですが、歯止めがかかる問題ではないと思っております。これは私の提言という形で聞いてもらえればいいのですが、今各種事業の中でそれぞれの事業収入をもってその人件費も負担できない部門があります。これは廃止の方向に持って行っていただきたいと思っております。将来必ず負担になります。もう1つ事業部分は何とか収入があるが、繰入金収入がないと事業が不

可能という事業がいくつかあるように思います。これも将来必ず負担になります。会員の負担になります。医師会費というのは医師会が事業をやる上で必要な金額を会員がそれぞれ分担するというものですから将来的に負担が増えれば会費も増える事になる可能性があります。繰入金収入がなくては事業が出来ないという部門に関しては廃止の方向で検討してほしいと思います。私の言いたいことは以上です。

土田会長：ご提言、心にとめて後進に引き継ぎたいと思っております。

齋藤壽一先生：人口減少、少子高齢化の対応は遅れば遅れるほど難しくなると思います。是非早めに検討を始めていただきたいと思っております。

堀内議長：他にご意見はありますか。最後に、新型コロナウイルス感染に関し、医師会で行ってきた対策および対応について土田会長より報告をお願いいたします。

土田会長：事前に配布された資料の中に参考資料として載っております。これに関して簡単にご説明します。いろいろなところからサージカルマスクその他防護衣、防護服などを頂戴しました。県および県医師会、それから渡會本店より高濃度エタノール、鶴岡西ロータリークラブより弱酸性次亜塩素酸水、山形南ロータリークラブよりフェイスシールド、鶴岡市よりサージカルマスク等でございます。それから鶴岡市においては鶴岡市休日夜間診療所勤務に関する手当として令和2年4月24日付で鶴岡市長通知として、休日夜間診療所に勤務したことにより保健所から新型コロナ感染症の濃厚接触者とみなされ、自分の診療所等を休診せざるを得なくなった場合、濃厚接触者の健康観察期間または最終暴露から14日間のいずれか短い方の期間のうち、休業した日数に応じて市から休業手当を支給すると決定されています。金額は1日当たり30万円となっております。2面には医師会事業関係について書いてあります。全体として医師会としての対応、および各事業所でどのような対応をしてきたかについて簡単に記載してあります。ご覧いただければと思います。

堀内議長：ありがとうございます。今の報告に対し、ご質問のある方はいらっしゃいますか。それではこれをもって、一般社団法人鶴岡地区医師会第105回定時総会を閉会します。どうもありがとうございました。
(午後7時20分 閉会)

YBCラジオ「ドクターアドバイスで きょうも元気」ラジオ出演体験記

・「ドクターアドバイス」収録記

島田 高志

7月最終週のYBCラジオ「ドクターアドバイス」に出演させて頂きました。タイトルは「リラクゼーションについて」という事で話してきました。一般の人々の健康のために何か役立つことで、精神科的な話題と言うと、これが一番かなと思った次第です。今回具体的に実践出来るような事を話したい、同じテーマで二回目は無いだろうから、二つくらい取り上げたい、など思って「自律訓練法」と「イメージ法」の二つ選んで、つい



盛沢山になってしまいました。15分番組5回なので、盛れそうな気がするのですが、個人的な趣味の事など聞かれ、曲もかけてなので、肝心の医学的な話は5分×5、実質25分位なのですよね。それで、どうもまとまりがなくて分かりにくい事になってないか、オンエアーはこれからなのですが不安に思っているところです。そうは言っても、収録自体はなかなか楽しく出来ました。担当のアナウンサーは門田和弘さん、やっぱりプロのアナウンサーは上手いですね。最初は一寸緊張していたのですが、うまくこっちを調子に乗せて話を引き出して来るところ、さすがプロと思いました。医学的な話の部分はまだいいのですが、趣味の話のところで色々乗せられて、鶴岡病院時代のしょうもない話など、全然予定していなかったエピソードをポロっと喋ったりしてしまいました。ディレクターの加藤研さんはずっとこの番組を担当されているという事で、門田アナと3人だけなのですが、手際よく収録は進行し番組計75分ぶんの収録が2時間と一寸で終了してしまいます。たまに、普段の仕事とは全く性質の違うこういう仕事もやってみるもんですね。

～ 寄贈いただきました ～

各医療機関に配布いたしました。誠にありがとうございます。

令和2年6月15日
 (株)庄内クリエイト工業 様
 フェイスシールド



令和2年7月9日
 資生堂 様
 エタノール



新入会員紹介

～令和2年7月1日入会～



氏名：齋藤 なか

生年月日：昭和49年6月23日

生まれた所・育った所：山形県鶴岡市

勤務先・診療科目：鶴岡市立荘内病院・小児科

出身校：埼玉医科大学

趣味・特技：茶道、ピアノ

鶴岡地区医師会会員の皆さんへ一言：鶴岡に帰って来て10年以上経過しました。今後も微力ながら地域の子どもの健康と御家族にとって安心できる子育て環境の維持に貢献できましたら幸いです。宜しく御指導を賜りますようお願い申し上げます。

原稿募集中！

趣味・話題・旅行記・思い出があるもの・大切な思い出の出来事等

なんでも構いません。

総務課までご一報を！

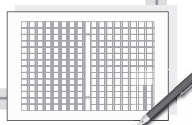


表 紙

「 胡桃の花 」

齋藤 壽一

沢沿いに自生する鬼胡桃からは、毎年おいしい実（核果の種子）をいただいている。5～6月に開花するが、これまでは、緑色の長く垂れ下がっているものを、花と思っていた。今年の開花期に、前述の花とは別に直立する赤い花を認めた。調べてみると、緑の長く垂れ下がったものが雄花序、赤い直立するものが雌花序であった。

齢を重ねても、自然には知らないことが多いと、今更ながら感じ入った次第であった。これは、その際のスナップである。

編 集 後 記

かなり蒸し暑い日が続いております。また、コロナの感染対策も引き続き継続する必要があります、肉体的、精神的にもストレスが多い時期となりましたが、皆様、体調は大丈夫でしょうか。

コロナ対策といえば、今となっては懐かしい「アベノマスク」から始まり、各地域における感染リスクを分析する前に決定した「小・中・高の全国一斉休校」、給付金支給の大幅な遅れ、さらに感染者が増え続けるなか始まった「Go Toキャンペーン」など、次から次へと湧き出す「愚策」にまず驚き、批判が出てからの改善やその対応の遅れなど現場の混乱はずっと続いています。そろそろしっかりして欲しいと思いますし、これまで期待していた国会議員の国民を守るための活動も全く目立たずとても残念です（ボーナスはしっかりもらいながら自粛しているのでしょうか？）。

ただ、相手は新型のウイルスなので誰かを責めても仕方ありません。幸い、日本の感染者数（現在7/27）は増加傾向であるものの海外と比較するとかなり少ない数で維持されており、これは十分な補償がなくても周りのことを考えて行動できる我々日本国民の努力の結果だと思えます。


今年、最初の「めでいかすとる」でラグビー日本代表の「ONE TEAM」という言葉を掲載しました。感染者を出さずに経済をまわしていくという難題をうまく解決していくことは非常に難しいことですが、まさに今、日本全体が「ONE TEAM」としてコロナ対策に取り組むべき時であると考えています。

(渡邊 秀平)

編集委員：渡邊秀平・小野俊孝・吉田 宏・木根淵智子・菅原真樹・中目哲平

発行所：一般社団法人鶴岡地区医師会 山形県鶴岡市馬場町1-34

TEL 0235-22-0136 FAX 0235-25-0772 E-mail ishikai@tsuruoka-med.jp

ホームページにも掲載しております  URL <http://www.tsuruoka-med.jp>